



KubeCon



CloudNativeCon

India 2024

# TRANSPARENCY REPORT

透明性レポート

## INDIA 2025



# KubeCon + CloudNativeCon India 2024

KubeCon + CloudNativeCon India を初めて開催できたことは本当に光栄でした。3,000 人以上の参加者が集まり、クラウドネイティブに関するあらゆることに熱意を持って取り組んでくれました。私たちは大きな期待を持ってこのイベントに臨みました - 何しろ、インドは CNCF への貢献が 4 番目に活発な国 (11,500 の貢献がある) であり、コミッターのランキングでは 3 位です - しかし、それでも、今回はデリーでの印象的な KubeCon + CloudNativeCon デビューとなりました。

AI や機械学習からエッジコンピューティング、セキュリティ、オプザバビリティまで、参加者は、コミュニティが厳選した基調講演、ブレイクアウトセッション、メンテナーセッション、ライトニングトークの各セッションで、世界中の実務家から直接話を聞くことができました。Kubernetes (KuberTENes) の 10 年と AI がぶつかり合う中、話し合うべきことがたくさんあったため、カンファレンス前、カンファレンス中、カンファレンス後もネットワーキングは続きました。

Linux Foundation が LF India の設立を発表したことにより、インドのオープンソース開発者、企業、政府機関を対象としたオープンなコラボレーションの促進が期待されるため、オープンソースに関する話題は今後さらに増えるでしょう。LF India は、この地域における「イノベーションのサンドボックス」として考えてください。これは、CNCF の私たち全員にとって非常にエキサイティングなことです。

KubeCon + CloudNativeCon India を振り返るのはとても楽しかったです。皆さんにも楽しんでいただけることを願っています。2025 年の CNCF イベントでお会いできることを楽しみにしています!

*Chris Aniszczyk, CTO CNCF*



**81%**

初めての参加者



**862**

CPF 提出数



**302**

Dan Kohn スカラーシップ  
基金の支援による出席者



**570**

メディア掲載実績

KubeCon

CloudNativeCon

India 2024

TOGETHER WE ACHIEVE



# 参加者概要

---

インドのコミュニティをひとつにまとめることができ素晴らしい経験でした。登録された参加者は合計 3,022 名でした。

## 業界関係者との ネットワーキングと 交流

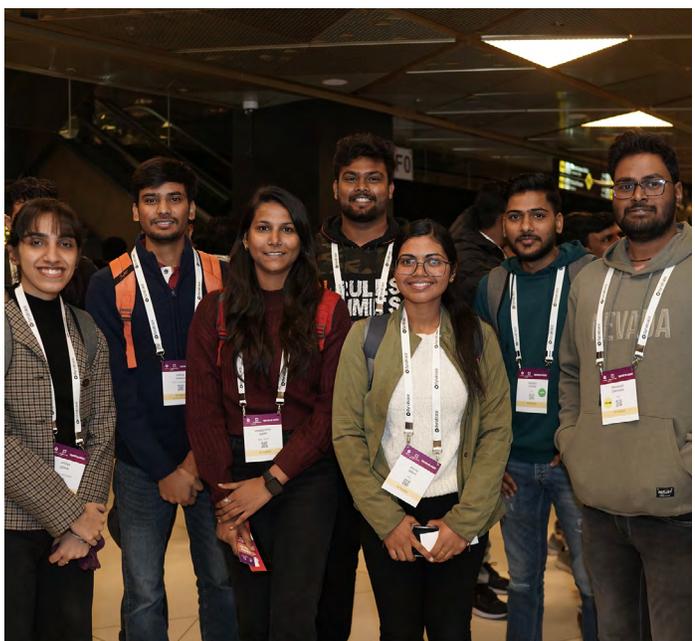
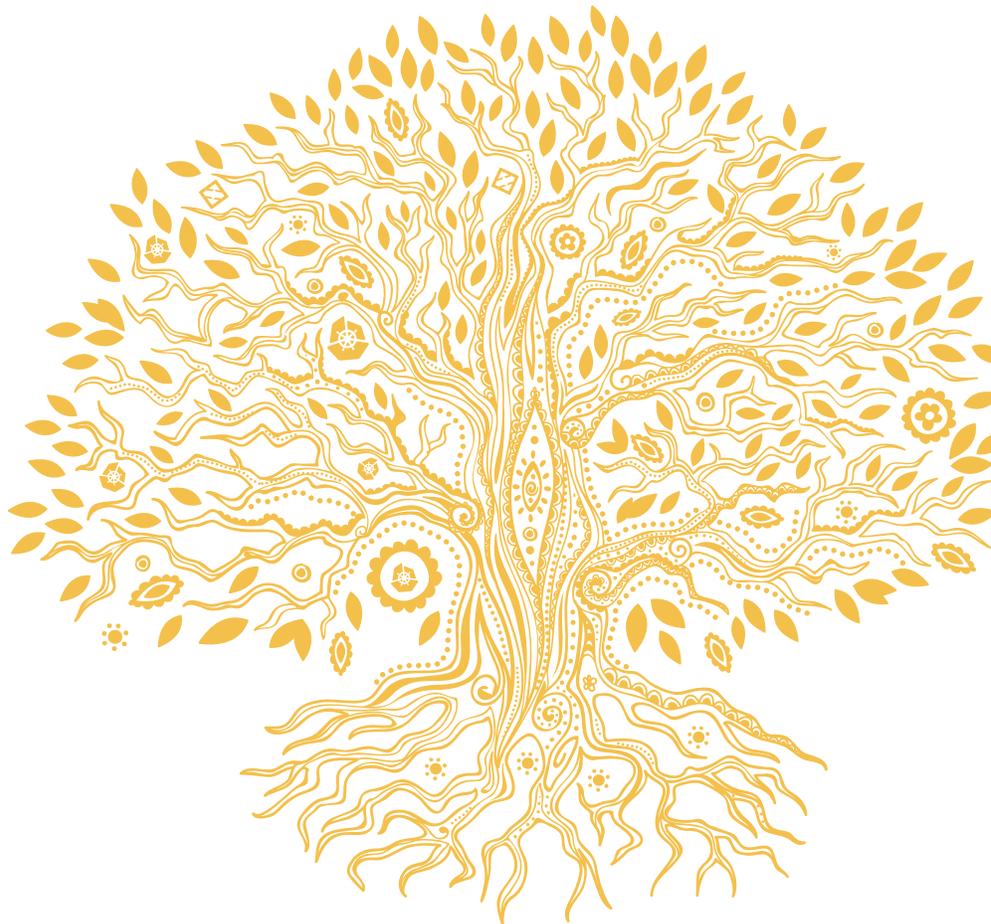
参加すべき 1 番目の理由

## キャリアアップ、 スキルアップ、 トレーニング

参加すべき 2 番目の理由

## 基調講演

参加すべき 3 番目の理由



## 参加者の多い上位国



インド  
**88%**



米国  
**4%**



シンガポール  
**2%**



スリランカ  
**1%**



オーストラリア  
**1%**

## 職種トップ3

DEVOPS/SRE/ システム管理者

**1,157**

開発者

**717**

アーキテクト

**458**

## 参加者の職種

アーキテクト	15%	営業 / マーケティング	4%
Business Operations	1%	メディア / アナリスト	1%
開発者	24%	学生	3%
- データサイエンティスト	4%	プロダクトマネージャー	3%
- フルスタック開発者	76%	その他	3%
- 機械学習専門家	5%	回答なし	2%
- Web 開発者	15%		
DevOps / SRE / システム管理者	38%		
エグゼクティブ	4%		
IT オペレーション	2%		
- DevOps	31%		
- システム管理者	30%		
- サイト信頼性エンジニア	33%		
- 品質保証エンジニア	6%		

## レジストレーションの種類

種類	2024
合計	3,022
企業参加者	54%
個人参加者	29%
アカデミック	2%
講演者	4%
スポンサー	10%
メディア	1%



# コンテンツ

---

KubeCon + CloudNativeCon India では、9つの基調講演と93のセッション（うち81がブレイクアウトセッション、12がメンテナートラックセッション）が行われ、入門セッションから技術的なディープダイブまで、多様なトピックのラインナップが紹介されました。講演は現在、私たちの [YouTube playlist](#) プレイリストでご覧いただけます。

## KUBECON + CLOUDNATIVECON INDIA 2024 の共同議長に感謝いたします。



**Nikhita Raghunath**

Staff Software Engineer  
VMware by Broadcom



**Divya Mohan**

Senior Technical Evangelist  
SUSE



# コンテンツ概要

---

スケジュールは、カンファレンスの共同議長である Nikhita Raghunath 氏と Divya Mohan 氏によって作成されました。両氏は、プログラム委員会の 62 名以上のメンバーを率いて、862 件の応募を審査し、関連性があり、教育的効果のあるスケジュールを作成しました。講演は、プログラム委員会が厳格かつ公平なプロセスで選択したもので、専門分野に応じてランダムに割り当てられた投稿を審査対象としました。



**862**

CFPS 提出数



**134**

講演者



**93**

合計セッション数

**7%**

CFP 採択率

**9**

基調講演

(スポンサー付き基調講演を含む)

**81**

ブレイクアウト

**8.8**

SCHED.COM セッション  
評価 (10 点満点中)

**12**

メンテナー トラック  
セッション

## 多様な講演者たち

---

CNCF は、講演者に対して、ジェンダーと多様性の平等に関するガイドラインを適用しており、男性のみのパネルは受け付けないこととしています。

ジェンダーマイノリティの基調講演者 **33%**

ジェンダーマイノリティブレイクアウトセッションの講演者 **17%**

# DAN KOHN スカラーシップ基金

Dan Kohn スカラーシップ基金は、多様性、ニーズベース、維持者、講演者など、302 人の応募者に直接参加する機会を提供しました。

## スカラーシップ

旅費支援スカラーシップの数	92
レジストレーションスカラーシップの数	172
講演者支援スカラーシップの数	38

## 多様性、公平性、包摂

The Linux Foundation と CNCF は、性別、性自認、性的指向、障害、人種、民族、年齢、宗教、経済状況に関わらず、KubeCon + CloudNativeCon India に参加するすべての人々が歓迎されていると感じられるよう努めています。

友好的で歓迎ムードがあり、誰もが参加できる環境づくりへの当社の取り組みは、イベントで提供する施設やリソースにも及びます。デリーでは、以下のようなものが含まれました。

- 無料の託児サービス
- 授乳室、祈祷室、静養室
- 性別表現およびコミュニケーション用ステッカー
- 基調講演の字幕表示

## ピアグループ メンタリング統計

12月12日（木）、98名のコミュニティメンバーが、多くの CNCF プロジェクトにまたがる7名の経験豊富なオープンソースのベテランと、クラウドネイティブトレーニングおよび認定のリーダーと交流し、互いに学び合うことを目的とした共同のピアグループ メンタリング イベントに参加しました。

対面でのキャリアネットワーキング メンターとのピアグループ メンタリング数	7
対面でのキャリアネットワーキング メンティールとのピアグループ メンタリング数	98

# メディアおよびアナリストによる報道

このイベントはメディアからも大きな注目を集め、インドの一流出版社 6 社から多数のシニアレベルのテクノロジー ジャーナリストが参加し、イベントの重要性をさらに高めました。メディアの反応は圧倒的に好意的で、参加者はイベントの関連性と実施内容に熱意を示しました。

12 月末時点で、このイベントには 38 本以上のオリジナル記事が寄せられ、その 70% 以上が一流の出版物からのもので、ユニークビジター数 (UVM) の面でも非常に高い数値を記録しました。これは、このイベントのコンテンツが持つ強い魅力と価値を裏付けるものであり、テクノロジー関連のメディアに広く浸透したことを示しています。

## 主な統計

24

出席したメディアおよび  
業界アナリスト

2,259

イベントセッション  
YOUTUBE 再生回数

## メディアおよびアナリストの結果

570 の記事、投稿、プレスリリース、ブログ

### インド報道の概要

- <https://techachievemedia.com/future-tech-frontier/indian-developers-real-world-challenges-arpit-joshi-pura-linux-foundation/>
- <https://techcrunch.com/2024/12/11/linux-foundation-sets-up-india-entity-to-boost-open-source-collaboration/?guccounter=1>
- <https://content.techgig.com/leadership/building-careers-in-cloud-native-tips-from-cnafs-executive-director/articleshow/116342458.cms>
- <https://www.dqindia.com/interview/priyanka-sharma-on-empowering-cloud-native-ecosystems-and-indias-impact-8416210>

# スポンサー情報

プラチナ スポンサー

CIVO INTUIT

## 私たちの時間のラップアップ

KubeCon + CloudNativeCon India 2024 に再びご参加いただきありがとうございました。2025 年 4 月 1 日よりロンドンで開催される [KubeCon + CloudNativeCon Europe in London](#) でまたお会いできることを楽しみにしています。8 月 6 日と 7 日にはインドのハイデラバードに戻ってきます。

私たちはこの素晴らしいイベントのあらゆる側面を正確に報告するために努力してきましたが、素晴らしいイベントにはつきものの変化、すなわちメディア報道の増加やオンラインでの閲覧数の増加などがあります。このレポートのデータを使用する場合は、2025 年 1 月の発行日を必ず参照してください。また、ご質問や来年の最新統計情報をご希望の場合は、お気軽にご連絡ください。2025 年 1 月、Cloud Native Computing Foundation 発行。



[REGISTER NOW](#)

この日本語文書は、[KUBECON + CLOUDNATIVECON INDIA 2024 TRANSPARENCY REPORT](#) の参考訳として、THE LINUX FOUNDATION JAPAN が便宜上提供するものです。

翻訳協力：吉田行男